



株式会社CSSホールディングス
第40期 中間

Business Report

2023年10月1日 ▶▶▶ 2024年3月31日

Support The Hospitality

最高の“おもてなし”を支える最適のパートナーに




ANNIVERSARY
CSS Holdings

Top Message



株式会社CSSホールディングス
代表取締役社長

水野 克裕

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当期(2024年9月期)中間決算は期初の予定どおり10円の配当を決定いたしました。また、2024年9月期第2四半期決算における通期業績予想は、前回予想を上回る見通しとなりました。経営成績に応じた利益還元を実施すべく、加えて2024年12月に当社は40周年の節目を迎えますことから、株主の皆様の日頃よりのご支援にお応えする意味合いを含めまして、期末配当は普通配当10円に記念配当10円を加え、計20円配当とすることを予定しております。今後も、継続的かつ安定的に利益配分を行う基本方針に則して、株主の皆様のお力添えにお応えして参りたいと思っております。

さて、この4月にはグループで52名の新卒新人が入社、研修期間を終えて現在は現場にて研鑽の日々を送っています。新卒入社のみならず、転職者の入社も通年で行われており、都度、受け入れの研修が執り行われます。また、毎春には昇進昇格した従業員の研修も幾多となく開催されます。

その都度の訓話の機会には、グループとしての成り立ちや根底にあるマインド、そしてbeyond精神について私からも語っています。お話ししながら思うことは、それぞれの皆さんは多種多様な個性を持っているということです。縁あって同じ会社・グループで仕事をしているわけですが、これに至る人生は人それぞれです。そしてまた私たちが働いている環境も一時的たりとも同じということはありません。常に変化する局面の中で、一つの目標に向かってホスピタリティマインドで連携し、それぞれがすべきこと、できること、したいことを能動的に考えて共創する、その過程による自己の成長が会社・社会の発展に繋がっていることを実感できる事業・チームでありたいと思います。

「経営基盤の再構築」をテーマに掲げ、「基軸事業強化による収益力の向上」「人材育成の強化」「ESG課題への取組推進」「グループ内外のリソース活用による新たな価値創出」に取り組んだ中期経営計画「Value Innovation 2024」は今期が3ヶ年の最終年度です。下半期にはこれを総括して、次期中期経営計画の具体像策定を進めます。不確実性の高い現代社会において、時代の変化に対応しながら持続的な成長を実現する、そのような未来を、既存の事業構造にとらわれない柔軟な発想と、これまで培った当社の強みをさらに広げる機会の接点においてデザインする好機だと感じております。

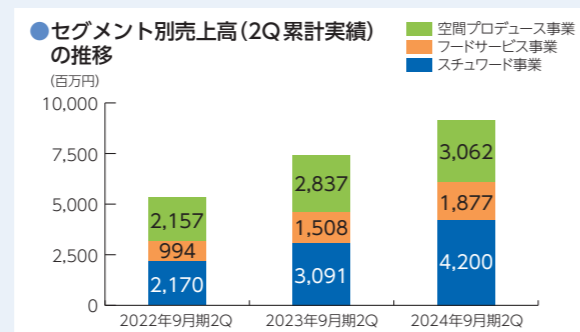
株主の皆様には、末長いで支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年9月期配当金(1株当たり)

中間	期末(予想)	年間合計(予想)
10円	20円 (普通配当10円 記念配当10円)	30円

業績ハイライト(単位:百万円)

	2023年9月期		2024年9月期	
	2Q累計	通期	2Q累計	通期予想
売上高	7,439	14,832	9,135	17,614
営業利益	238	276	507	550
経常利益	269	313	520	570
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	202	230	323	371
1株当たり当期(四半期)純利益(円)	40.60	46.08	64.79	74.31
総資産額	5,710	5,700	6,459	-
純資産額	2,311	2,346	2,638	-



Go beyond with ...

企業や学校組織とのコラボにより産学連携、新たなサービス、付加価値を生み出しともに「Go beyond!」を推進しました。

CSS with Winterhalter

ワインイベント「ProWine Tokyo 2024」のWinterhalter(株式会社ウィンターハルター)ブースにて、株式会社セントラルサービスシステムがグラス洗浄を担いました。

「ProWine Tokyo 2024」は、東京ビッグサイトで開催された日本最大のワイン・アルコール飲料展です。全世界から選りすぐりの製品を集めて、業界全体の情報共有プラットフォームとなるべく開催されました。

セントラルサービスシステムは、観覧可能となっているウィンターハルターの洗浄機設置ブースにて、ラック回収から運搬、ラックコンベアでの洗浄および純水仕上げ、乾燥までの一連の洗浄業務を実施し、当社の洗浄オペレーション一式を出展企業様および来場者様へアピールいたしました。

本イベントのグラス洗浄を担うことで、アルコール業界(料飲やワインなど)における当社の認知度向上につながりました。



SDN with 大阪農業園芸・食テクノロジー専門学校

株式会社センダンおよび株式会社CSSホールディングスは、大阪農業園芸・食テクノロジー専門学校の企業プロジェクトに参画しました。同プロジェクトは企業からの課題に学生たちが取り組む授業で、お客様に喜ばれる商品をイメージし、食材選びやコストに配慮しながらメニューを開発します。商品として採用されて、実際に店頭で販売される作品もあり、より実践的に商品開発を学べるプロジェクトです。

学生が考案したメニューの企画プレゼンテーションを受け、企画コンセプト・コスト、味、調理手順などを評価し、優秀作品は当社グループが運営する洋食料理カフェ・ナンバリボンで4月からメニューとして提供いたしました。また、そのプロセスは専門学校の卒業制作展や、ATCホールでの進級制作展にて作品として展示され多くの関心を得ました。



TML with Scent Air

東洋メディアリンクスのフレグランス事業における輸入・販売元である米国Scent Air社よりこの度、アジア地区で売上に貢献したとして表彰を受けることになりました。Scent Air社の香りを導入してから、約10年となり、初の受賞となります。今後もScent Air社と協力し、素敵な香りを皆様にお届けいたします。



CSS with BRING

当社グループ創業40周年に向けたユニフォームデザインのリニューアルにあたり、リサイクル素材を使用したユニフォームの導入とデザインが決定し、2024年4月より随時交換を開始しております。

この取り組みで、廃棄によるCO2削減や衣料品に使われる石油資源の使用量の削減に貢献することができます。



BRINGのリサイクル原料を20%以上使用してできたユニフォーム製品を示すブランドマーク

TML with アートグリーン株式会社

東洋メディアリンクス株式会社は、革新的なテクノロジーを取り入れたグリーンウォール「bio(バイオ)」をリリースしました。

屋内緑化が提供する健康と安定のイメージ、疲労回復とストレス軽減の心理効果に、同社の専門知識・ノウハウを融合いたしました。独自の香り、心地よいBGM、鮮やかな映像ソリューションを組み合わせることで、緑化を超えた特別な体験空間を創造します。

またアートグリーン株式会社と業務提携により、東洋メディアリンクスの既存のお客様はもとより、当社グループでサービスを提供している多くのお客様に向けて、アートグリーンの植栽ソリューションと東洋メディアリンクスの60年以上の視覚・聴覚・嗅覚マーケティングノウハウを融合させ、空間全体をさらに彩る新たな「おもてなし」の提案を図ってまいります。



Topics

僕とうどんとカツオだし あべのキューズモール店オープン

2024年3月19日(火)、株式会社パトリオットバトンが運営を行う「僕とうどんとカツオだし」が大阪市天王寺駅・阿倍野駅に直結のフレンドリーなショッピングモール「あべのキューズモール」にオープンいたしました。

「僕だし」は打ち立てうどんと自家製鰹出汁が自慢のお酒が楽しめるうどん店です。お近くにお越しの際は是非ご賞味ください。



武蔵野調理師専門学校『環境と食』カリキュラムにて SDGsテーマの企業授業にて社長講義

武蔵野調理師専門学校の『環境と食』カリキュラム内で、SDGsテーマの企業授業の臨時講師を当社代表取締役社長の水野が務める機会をいただき、90分授業を4クラス、都合124名の生徒さんに熱弁を振りました。講義内容は、当社グループの事業内容や具体的なSDGsの取り組みに留まらず、これから社会に出る学生の皆さんへの期待に溢れるメッセージ満載のものとなりました。



資産運用EXPO【春】・上場企業によるIR・株式投資セミナーに 登壇いたしました

2024年1月19日(金)～21日(日)に東京ビッグサイトで開催されました「日本最大級の投資商品の総合展・資産運用EXPO【春】」において、株式会社日本証券新聞社の協力のもと、初開催の「上場企業によるIR・株式投資セミナー」に当社代表取締役社長の水野が登壇いたしました。

当日は定員を超える多くのお客様にご参加いただき、大盛況のうちに終了いたしました。



WELCOME! fresh faces!

2024年4月1日(月)、CSSグループ入社が行われ、グループ全体で52名の新しい仲間を迎えることとなりました。

グループ全体で全国的に事業拡大に伴う人材不足が顕著となり、十数年ぶりの中部・九州地区での採用が実施されました。ホテル稼働・インバウンド需要の高まりに応じて、全国にわたる採用強化の必要性に対応し、人材育成を図っています。



会社情報 (2024年3月31日現在)

株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
基準日	9月30日
株主名簿管理人 (特別口座の 口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

役員

代表取締役社長	水野 克裕
代表取締役	野口 緑
取締役	太田 清久
社外取締役(監査等委員)	越智 敦生
社外取締役(監査等委員)	永辻 航
社外取締役(監査等委員)	山河 和博
補欠取締役(監査等委員)	篠 連

水野 克裕
野口 緑
太田 清久
越智 敦生
永辻 航
山河 和博
篠 連

株式の状況

発行可能株式総数	20,776,000株
発行済株式の総数	5,285,600株 (内、自己株式165,370株)
株主数	1,874名

大株主

株主名	所有株数	持株比率*1(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(リテール信託口620090802)	677,000	13.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(リテール信託口620090803)	671,000	13.10
株式会社ユニヴァ・アセット・マネジメント	600,000	11.72
野口 緑	566,300	11.06
S・TEC株式会社	425,000	8.30
白土 将敏	223,500	4.37
秋元 之浩	150,000	2.93
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)*2	125,600	2.45
CSSグループ従業員持株会	123,000	2.40
株式会社広美	80,000	1.56

*1 上記の持株比率は、自己株式165,370株を控除して計算の上、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

*2 株式会社日本カストディ銀行(信託E口)は、役員向け株式給付信託の信託財産として125,600株を保有しております。なお、当該株式は自己株式に含めておりません。

株式会社CSSホールディングス

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町10番1号

<https://www.css-holdings.jp>



LINE公式アカウントお友だち募集中!

CSSグループの「今」がわかる、最新ニュースやホットな話題、お得情報を配信します

LINE ID : @663mhfp

